

取付設置説明書

Panasonic®

IH クッキングヒーター

品番 SF33XSTK <赤外線式換気連動対応>
SF32AST・SF32AS・EF32AE

※品番の先頭には、キッチンシリーズを示す英字2文字が入ります。

*この説明書は<SF33XSTK>のイラストで説明していますが、設置方法や寸法などは各品番とも同じです。

取付設置される方へ

- 取付設置前にこの取付設置説明書をよくお読みの上、正しく安全に取付設置してください。特に「安全上のご注意」は、取付設置前に必ずお読みください。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
- 取付設置完了後は、チェックリストによる確認・試運転を行ってください。そのあと、取扱説明書を必ずお渡しし、使い方を説明してください。
- 本機は、ビルトイン電気オープンレンジの排気口を接続する「後方排気システム」に対応していません。

●ガス機器から付け替える場合

ガス事業者に連絡しないでガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓など）を無断で撤去することは法令により規制されています。

事前にガス事業者へ連絡してください。また閉栓はガス業者に依頼してください。

- 本機は約30Aを消費するため、平均的なご家庭の場合で、総電気容量を約60A以上にするをおすすめします。60A未満の場合は、総電気容量を増やすか、本機の消費電力を4,800Wに切り換えるをおすすめします。

1 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



必ず守る

- 電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う（接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因）

- 200V・30A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する（この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因）

- 「D種接地工事」を必ず行う（漏電すると、感電の原因）



禁止

- 絶対に分解・修理・改造は行わない（火災・感電・けがの原因）

- トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど。

- トッププレートに強い衝撃を加えない

- 上に乗ったり、工具・鍋などを落とさない
- コーナー部を強い力で押さない

（万一ひびが入ったり割れたりしたりすると、感電や過熱・異常動作の原因）

- 試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない（やけどの原因）

注意



必ず守る

ワークトップは、耐熱材料を使う

メラミン化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の物

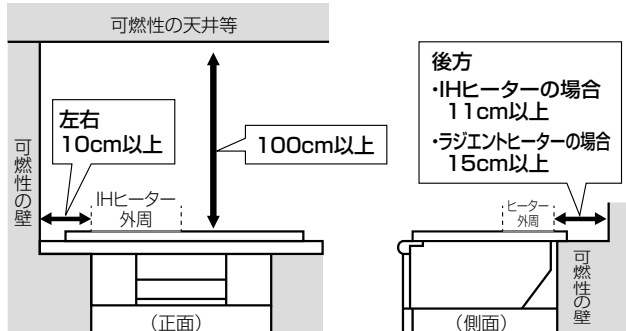
（耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因）
※ニス引きのものは変色するため使わない。

2 設置場所 / 外形寸法

壁からの距離

火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

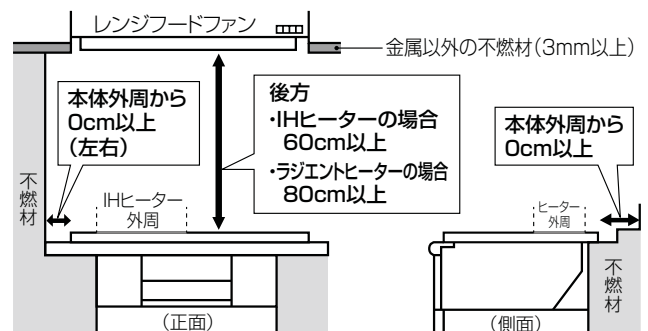
■可燃性の壁 (防火構造壁以外) の場合



グリルを引き出すため、前面は60cm以上開放してください。

(消防法 基準適合 組込形)

■レンジフードおよび不燃材の場合



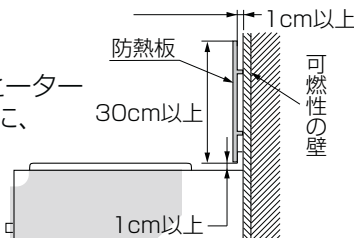
グリルを引き出すため、前面は60cm以上開放してください。

<特定安全IH調理器適合品：後方がラジエントヒーターのものは除く>

■上記の距離を離せない場合

防熱板を取り付ける

- 背面に取り付ける場合は、後ろIHヒーター (またはラジエントヒーター) を中心に、左右の位置をそろえてください。
- 本体の側面に取り付ける場合も、右図と同じ距離を設けてください。

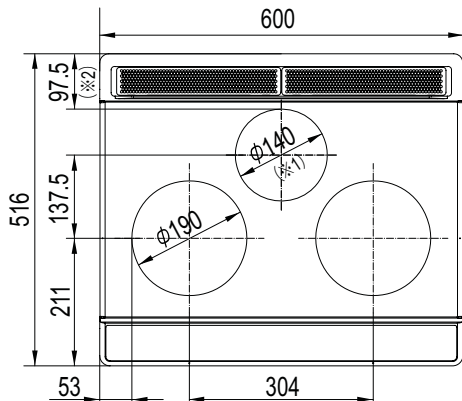


お願い

- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属 (メタルラスなど) に接触しないようにしてください。
(電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています)

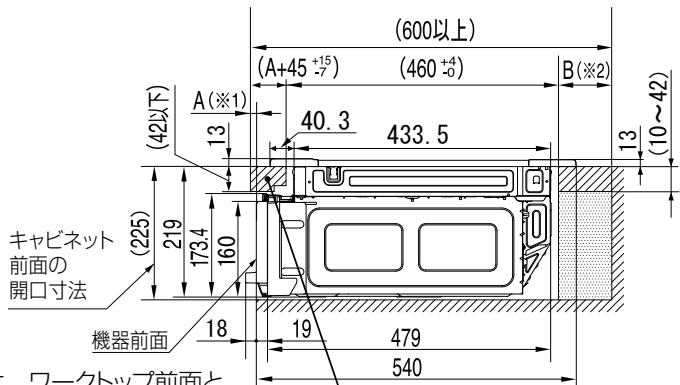
外形寸法図

■平面図



- ラジエントヒーターの場合は、下記寸法です。
- ※1: 152
- ※2: 91.5

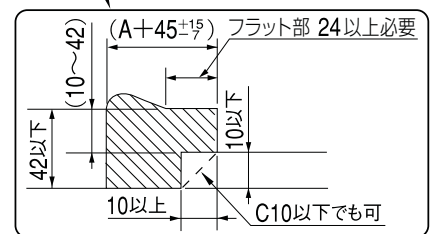
■側面図



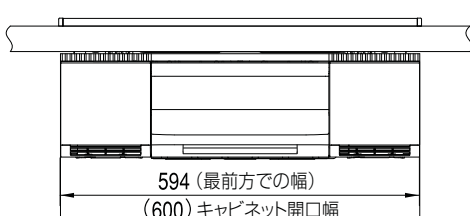
※1: A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面 (機器前面) との差です。

※2: B寸法 (後方スペース) 80mm以上あれば、パナソニック (株) 製の露出コンセント (WK36301B) が使えます。

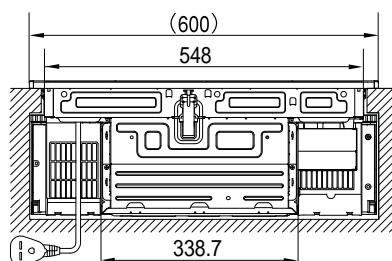
- コード長さ: 約 1m



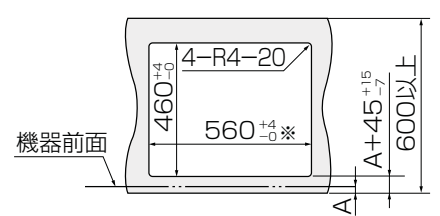
■正面図



■背面図



■取り付け穴 (ワークトップ切り込み寸法)



※横寸法は560⁺⁴₋₁₀まで対応可能。

3 電気工事 / 同梱部品の確認

専用回路の設置

■ブレーカー付き単相200V・30Aの専用回路

- 三相200V(動力電源)は使わない(故障の原因)

■屋内配線用電線

単線直径2.6mm以上または、より線5.5mm²以上

※ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合はそれに従ってください。

漏電遮断器の設置

- 推奨漏電遮断器<パナソニック(株)製>

品番	BJS3022N(HBモジュール) または BSHE23022(コンパクトタイプ)		
定格電流	30A	感度電流	15mA



※上記以外では、IHクッキングヒーターに適さないものがあります。

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。(コンセントの一極接地用に配線してください。)

■コンセントの種類・位置

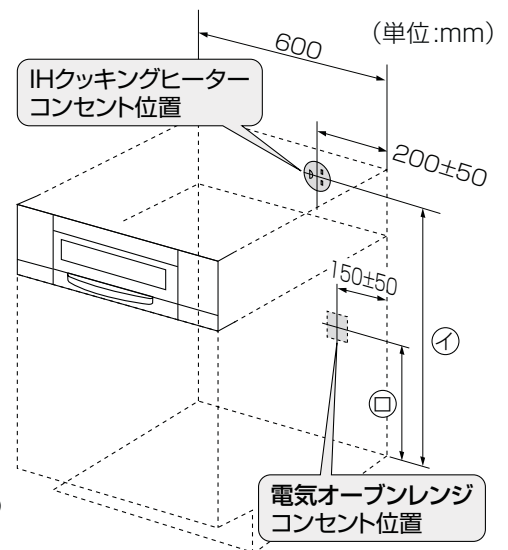
- 推奨コンセント<パナソニック(株)製>

	IHクッキングヒーター 200Vコンセント	電気オープンレンジ
		200Vコンセント
定格	単相250V・30A(接地2P)	単相250V・20A(接地2P)
品番	(埋込型)WF3630B または (露出型)WK36301B 	(埋込型)WN1922 

- コンセントの取り付け位置

キッチン 高さ	IHクッキング ヒーター コンセント ⓪寸法	電気オープンレンジ コンセント ⓱寸法
850mm	700±15mm	490mm
800mm	650±15mm	

※詳細は電気オープンレンジの設置についての説明書をご覧ください。

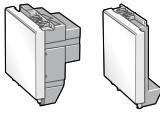

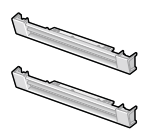



お願い

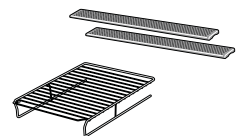
- 電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。
- コンセントは必ず固定してください。(接続、固定が不完全な場合、漏電、火災の原因になります。)

同梱部品

※必ず設置前にご確認ください

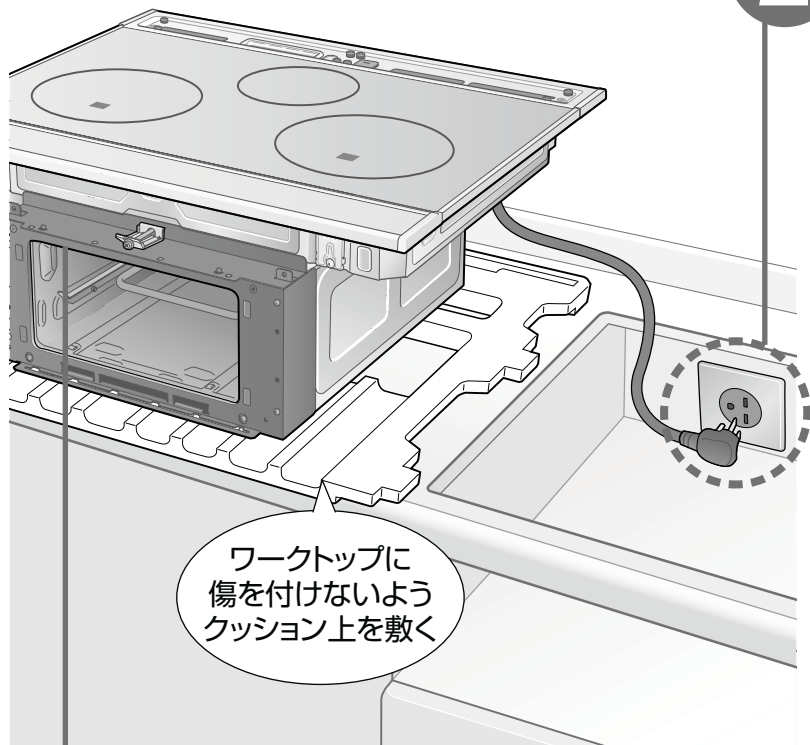
サイドカバー :各1個 (左) (右) 	吸気口カバー:1個 	フィルター :2個 	付属ねじセット:1個 (サイドカバー取り付け用)  …なべデルタイトねじ(黒) φ4×10(M4と同ピッチ)
--	--	---	---

※焼き網・排気パネルは製品にセットされています。



4 本体の設置

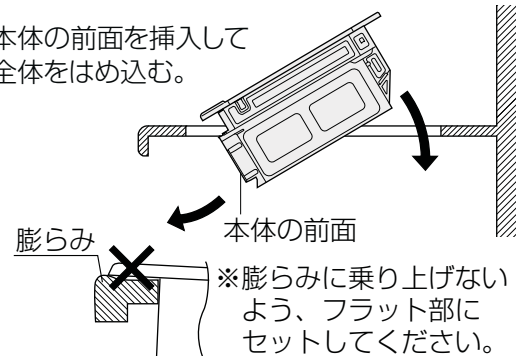
①電源プラグを差し込み、本体をはめ込む



2

電源プラグを差し込み、ワークトップに本体をはめ込む

- 本体の前面を挿入して全体をはめ込む。

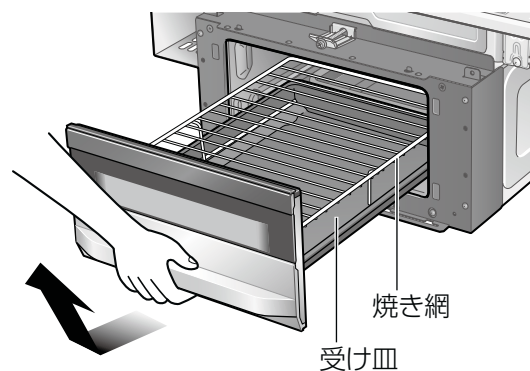


- 前面をワークトップに当てない。(傷が付く原因)
- 本体底面とキャビネットの間に、電源コードを挟まない。
- フレーム下面とワークトップの隙間が、ほぼ均一かどうかを確認する。
※均一でない場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。

1

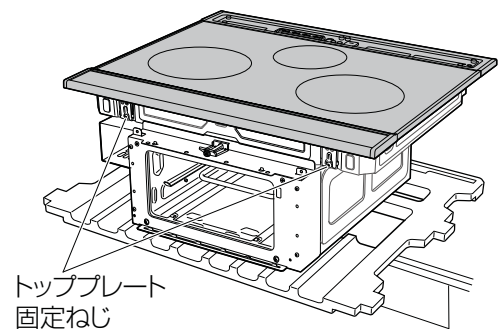
グリルを取り外す (テープ・保護シート・当て紙を外す)

- 止まるまで引き出して、斜め上に引き上げる。



(取り付けは、逆の要領で)

トッププレートに、隙間や傾きがあるときは トッププレート固定ねじを締め直してください

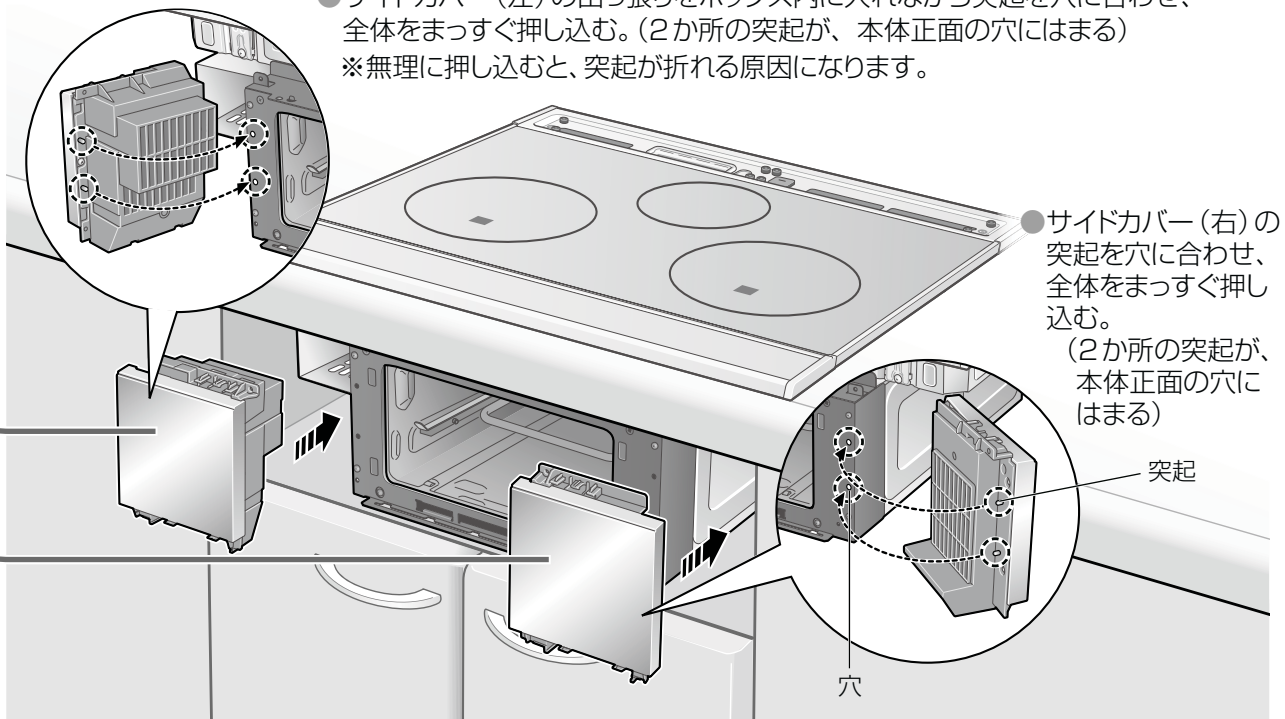


- ① 本体を取り出し、トッププレート固定ねじを緩める。
- ② トッププレート手前の中央を強く押しながら、中央のねじを締め直す。(続けて左右も締め直す)
- ③ 再度ワークトップに本体をはめ込み、隙間がほぼ均一であることを確認する。

② サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

1 サイドカバー（左右）を取り付け、ねじを締める

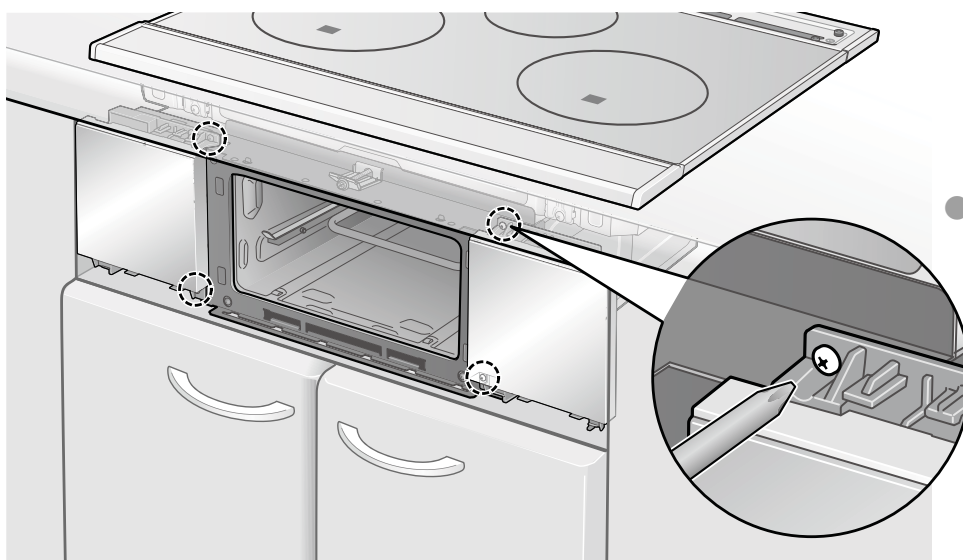
- サイドカバー（左）の出っ張りをボックス内に入れながら突起を穴に合わせ、全体をまっすぐ押し込む。（2か所の突起が、本体正面の穴にはまる）
※無理に押し込むと、突起が折れる原因になります。



- サイドカバー（右）の突起を穴に合わせ、全体をまっすぐ押し込む。（2か所の突起が、本体正面の穴にはまる）

突起

穴



- 各、左右のサイドカバーのねじ穴（上下2か所）に付属のねじで締め付ける

・ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
※先の長い（約70mm以上）ドライバーをお使いください。

- サイドカバーがキャビネットの側面に乗り上げていないことを確認する。

2 本体の位置を調整する

① キャビネットと本体左右の隙間を均一にする

② キャビネットの扉面に本体前面を合わせる

※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。

はみ出した場合は、本体を少し持ち上げて薄いヘラ状のもので軽く押し込む。

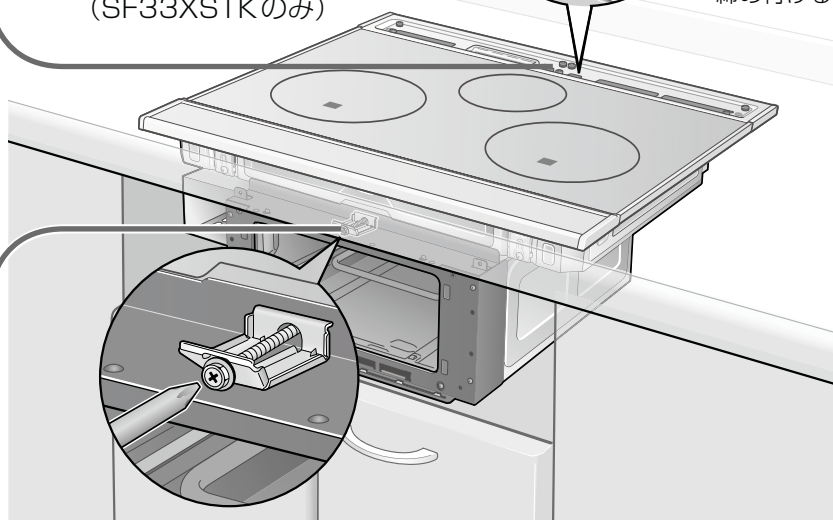
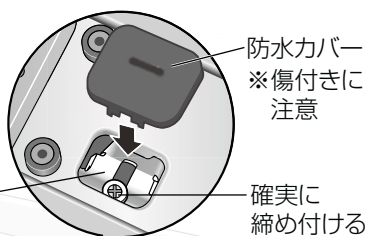
※キャビネットのパッキン等に干渉する場合は、パッキンをカットする。

③固定する

1

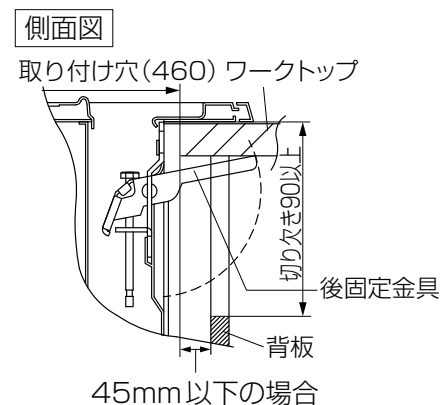
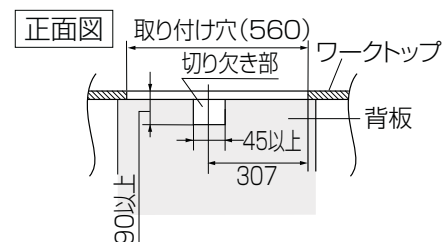
防水カバーを外し (SF33XSTKのみ) 後固定金具を固定する

- ねじを締めると後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定される。
- 防水カバーを取り付ける。
(SF33XSTKのみ)



■ワークトップの後方に背板がある場合

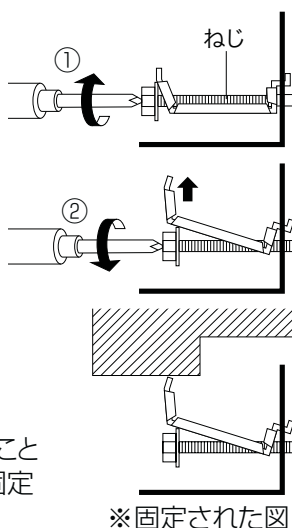
背板位置がワークトップの取り付け穴から45mm以下の場合、後固定金具が通るように切り欠きを設ける。



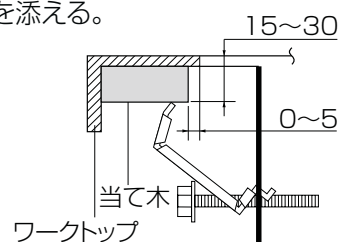
2

前固定金具を固定する

- ①ねじを緩めて、前固定金具を緩める
 - ②固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する
- ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
※先の長い(約70mm以上)ドライバーをお使いください。
 - 固定後は、次のことを確認する。
 - ・フレームを押し動かさないこと
 - ・トッププレートの左右で傾き・隙間がないこと
 ※傾いている場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。(P.4)

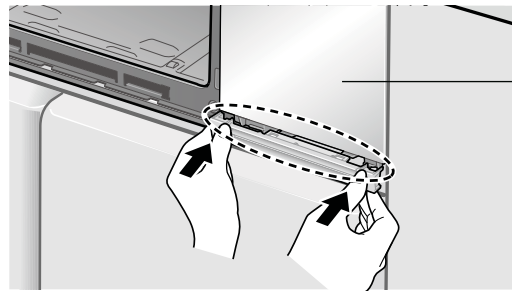


■ワークトップの厚みが薄い場合 当て木を添える。



④ フィルター・吸気口カバー・グリル・排気パネルを取り付ける

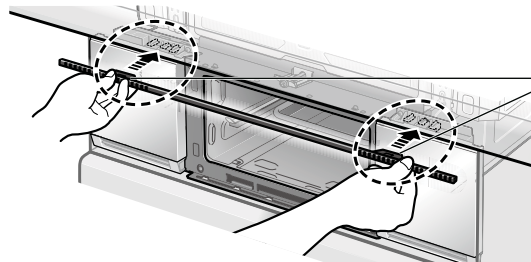
① フィルターを取り付ける(左右)



サイドカバー

- サイドカバーの下部の位置に合わせ、フィルターを奥まで差し込む

② 吸気口カバーを取り付ける



- 吸気口カバーの凸部(2か所)を奥まで差し込む

③ グリルを取り付ける (P.4)

④ 排気パネルを取り付ける

赤外線コード・消費電力の切り換えが必要なとき

■ 赤外線コードの切り換え <SF33XSTKのみ>

出荷時はコード「2」に設定しています。

- 設置完了後の作動確認④で、レンジフードが作動しない場合は、コードを切り換えて再度確認してください。



(後ろIHヒーター操作部)

電源スイッチを入れ

- ① で囲んだ2つのボタンを約3秒間同時に押す (2を表示)
- ② < | > でコードを切り換える (0 ⇒ 2 ⇒ 14)
→ 表示されたコードで信号を送信する。

レンジフードが作動したコードで

- ③ で囲んだ2つのボタンを同時に押す (切り換え完了)

■ 消費電力の切り換え (4,800W/5,800W)

出荷時は5,800Wに設定しています。




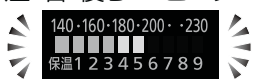



- 必ず契約容量ブレーカー (契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー) をご確認ください、総電気容量が60A未満の場合は、消費電力を4,800Wに切り換えることをおすすめします。



- ① で囲んだ3つのボタンを同時に長押ししたまま電源スイッチを押す
- ② 電源ランプが点灯したら、電源スイッチの指を離す (58を表示) ※ で囲んだ3つのボタンは離さない
- ③ < | > で切り換える (58 ⇒ 48)
- ④ 電源スイッチを切る (切り換え完了)

5 設置完了後、確認する

✓ 確認項目

<input type="checkbox"/> 包装材料の取り外し	<ul style="list-style-type: none"> ● 部品止めテープ(グリル・排気パネル)・グリルの保護シート・当て紙
<input type="checkbox"/> 同梱部品などの取り付け	<ul style="list-style-type: none"> ● 排気パネル・サイドカバー・吸気口カバー・フィルター・グリル(受け皿・焼き網・扉)
<input type="checkbox"/> 外 観	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体が前後左右に傾いていないこと ● トッププレートの左右に傾き・隙間がないこと ● フレームが浮いていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出していないこと ● トッププレートが汚れていないこと
<input type="checkbox"/> 電気工事	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源電圧が単相 200Vであることを確認する ※単相 100Vでは、電源スイッチを入れたときに「H20」を表示します。 ● アースが接続されていること ● 漏電遮断器が設置されていること
<input type="checkbox"/> 作 動	<p>① 電源スイッチを入れる</p> <p>▶ 通電ランプ点灯。</p>
	<p>② 各ヒーターの作動を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 左IHヒーター： 切/入 ● 右IHヒーター： 切/入 ● 後ろIHヒーター/ラジエントヒーター： 切/入 → < (または >) <p>▶ 表示の点滅を確認する。 ● 左・右・後ろIHヒーター  ● ラジエントヒーターしばらくするとヒーターが熱くなる。</p>
	<p>③ グリルは  を押し、作動を確認する</p> <p>▶ しばらくすると庫内が熱くなる。</p>
	<p><赤外線式換気連動対応のレンジフードの場合> ※SF33XSTKのみ</p> <p>④ レンジフードと、「連動する/連動しない」を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 連動する : ・各ヒーターの操作ボタンを「入」にする。 ・すべてのヒーターの操作ボタンを「切」にする。 ● 連動しない: 下記の方法で「連動切」に設定し、いずれかのヒーターを入れる。 <p>中央操作部の</p> <p>① < > を約3秒間同時に押す</p> <p> 入 →  切 ・現在の設定を表示したあと表示が変わる</p> <p>② 約3秒後に表示が消える(変更完了)</p> <p>▶ ・レンジフードが作動する。 ▶ ・レンジフードが停止する。(レンジフードによっては数分間残置運転して停止する) ▶ ・レンジフードが作動しないことを確認する。 → 確認後は、同じ操作で「連動入」に戻してください。</p> <p>※「連動入」になっているのに、レンジフードが作動しない場合 赤外線コードを切り換えて確認してください。(P.7) → それでも連動しない場合は、お買い求め先または修理ご相談窓口(取扱説明書ご参照)にご相談ください。</p>

■電気試験後は ●必ず、各ヒーターと電源スイッチを「切」にしてください。
●取扱説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

確認者印	
------	--

取付設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。